

対前年比2.5倍の賃上げ 函館運送支部が賃金交渉妥結

函館運送支部は4月12日の団交で上積み回答を引き出し、賃金交渉について妥結しました。回答は、本採用2,500円(第1次回答+200円/昨年の妥結額+1,500円)、58歳到達者1,500円(同+150円/同+900円)、東京嘱託2,000円(同+200円/同+1,200円)、臨時従業員2,000円(同+200円/同+1,200円)で、対前年比2.5倍の賃上げとなります。なお、夏季一時金については6月中旬以降に交渉をおこなうこととなりますが「現時点においては特別なマイナス要素が発生しない限り、最低でも前年と同額以上となる支給率を保証する」との回答を得ています。

太平洋運輸支部も妥結

太平洋運輸支部は春闘の賃上げについて「定昇1,000円」で4月18日に妥結しました。なお、4月に「決算手当」3万円が支給されます。

春闘・夏季一時金闘争などの状況を道本部にお知らせください

リヴィノールシステムで65歳まで定年延長

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は、かねてからの要求であった「定年延長」について、4月16日に会社と協定書を結びました。4月1日から正職員の定年を65歳(満65歳に達した日)とし、基本給は59歳の基本給を65歳まで継続して勤続給も60歳以降の年数を含めて基本給に加算(20年を限度)するなどの内容で合意したものです。

「1の日」行動

北海道の未来に必要なのは カジノ(IR)ではなく鉄道(JR)だ

統一地方選挙前半戦が終わった4月11日、札幌駅南口で「北の鉄道存続・1の日行動」がおこなわれました。北海道知事選挙で、夕張の鉄道をはがす「攻めの廃線」をJRに提案した鈴木前夕張市長が当選したことから、参加者は「北海道の未来に必要なのはカジノ(IR)ではなく鉄道(JR)だ」と訴えました。

引き続き、「すべての争議解決・1の日行動」がおこなわれ、福祉保育労(明啓院分会・つばさ保育園)と医労連・恵和会労組からたたかひの報告があり、参加者は1日も早い解決をめざす決意を固めました。

すべての争議の解決を